

指定管理者候補の選定結果について

下記のとおり、指定管理者の「候補」が選定されました。指定管理者の指定については、地方自治法第244条の2第6項の規定により議会の議決を経る必要があり、令和6年12月議会の議決を経た後に正式に指定することとなります。

1 指定概要

(1) 施設概要

名称：北九州市立第1・第2緑地保育センター
所在地：(第1緑地) 若松区大字竹並925番地の1
(第2緑地) 小倉南区大字長野530番地の3
施設内容：

①施設概要

豊かな自然環境の中で、児童に健全な遊びを与えて保育し、その心身の健全な発達を図ることを目的とした児童厚生施設。

②事業内容

(第1・第2緑地共通)

宿泊保育事業、日帰り保育事業、親子宿泊事業、ファミリーレクリエーション事業、子育てグループサポート事業、出前講演事業、野外活動研修会、夜まで日帰り保育事業

(第2緑地のみ)

ホタルの育成事業

(2) 指定期間

令和7年4月1日～令和12年3月31日

(3) 指定管理者候補の概要

名称：社会福祉法人 北九州市福祉事業団
所在地：北九州市八幡東区中央二丁目1番1号
主な業務内容：北九州市内9種67施設の運営
・事業団立 18施設（保育所等）
・指定管理 49施設（児童館、障害児施設等）

2 指定の経緯

- 令和6年 8月16日 募集要項配布
令和6年 9月 4日 募集締め切り
令和6年10月 9日 指定管理者検討会の開催
令和6年10月 指定管理者候補を決定

(1) 応募資格

- ①法人、その他の団体であること。(個人による応募は不可)
- ②本社、本店又は主たる営業所、事務所等を、事故など緊急な対処を要する事態が発生した場合に迅速に対応できる場所に有するもの。
- ③申請意向届出書を提出していること。(共同事業体で応募する際は、代表団体が申請意向届出書を提出していること。)
- ④共同事業体を構成する場合は、競争性を確保した上で、本市経済の振興と地元団体の育成を図る観点から、可能な限り地元団体を構成員とするよう努め、最低1団体は地元団体とすること。

(2) 応募状況

説明会参加：1団体

応募件数：1団体(社会福祉法人 北九州市福祉事業団)

3 選定方法

指定管理者の選定に当たっては、学識経験者や専門家等による指定管理者検討会を開催し、応募者から提出された事業計画書等について検討しました。市は、検討会の検討結果を参考に指定管理者候補を決定しました。

4 検討会構成員

- ・[学識経験者] 阿南 寿美子(西南女学院大学短期大学部 保育科 教授)
- ・[有識者] 河崎 幸子(社会福祉法人 北九州市小倉社会事業協会
北九州市北方地域子育て支援センター 所長)
- ・[有識者] 大塚 友江(元 北九州市立城野保育園 園長)
- ・[有識者] 田中 久美子(北九州市民生委員児童委員協議会
主任児童委員部会 部会長)
- ・[財務関係] 田村 奈々子(田村奈々子税理士事務所 所長)
- ・[市民代表] 小林 香織(北九州市子ども・子育て会議 公募委員)

5 選定基準等

選定基準(=審査項目)及びポイント	
1	指定管理者としての適性
	(1) 施設の管理運営(指定管理業務)に対する理念、基本方針

① 市の当該分野における基本的な政策や計画、あるいは施設の設置目的や性格等を十分に理解した上で、それらに適合した管理運営（指定管理業務）に対する理念や基本方針を持っているか。
(2) 安定的な人的基盤や財政基盤
① 長期間安定的な管理運営（指定管理業務）を行っていただけの人的基盤や財政基盤等を有しており、又は確保できる見込みがあるか。
(3) 実績や経験など
① 同様、類似の業務の実績を有しており、成果を上げているか。
② 施設の管理運営（指定管理業務）に関する専門的知識や資格、経験を十分に有しており、熱意や意欲を持っているか。
③ 複数の団体が共同して一つの応募団体となっている場合、それぞれの責任分担等が明確になっているか。
2 管理運営計画の適確性
【有効性】
(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み
① 施設の管理運営（指定管理業務）に係る事業計画の内容が、施設の効用を最大限に発揮し、施設の設置目的に沿った成果が得られるものであるか。
② 施設の利用者の利便性を高めるための実施可能な提案があるか。
③ 施設間の有機的な連携が図られる提案があるか。
④ 施設の設置目的に応じた営業・広報活動に関する効果的な提案があるか。
(2) 利用者の満足向上
① 利用者の満足が得られるよう十分に考えられているか。
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる仕組みを構築しているか。
③ 利用者からの苦情に対する対策が十分に考えられているか。
④ 利用者への情報提供が図られるよう十分に考えられているか。
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な提案がなされているか。
【効率性】
(3) 指定管理料及び収入
① 指定管理業務に係る費用（指定管理料）が最小限に抑えられているか。
② 収入が最大限確保又は経費を低減するための実施可能な提案であるか。
(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性
① 収支計画が妥当かつ、実現可能な提案であるか。
② 経費の配分は適切であるか。
③ 積算根拠は明確であるか。
④ 再委託が適切な水準で行われているか。
【適正性】
(5) 管理運営体制など
① 施設の管理責任者、管理体制が明確に示されているか。
② 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員の配置が合理的であるか。
③ 施設の管理運営（指定管理業務）にあたる人員が必要な資格、経験などを有しているか。
④ 職員の資質・能力向上を図るよう考えられているか。
(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など
① 施設の利用者の個人情報保護するための対策が十分に考えられているか。

②	利用者が平等に利用できるよう配慮されているか。
③	日常の事故防止などの安全対策や事故発生時の対応などが十分に考えられているか。
④	衛生管理及び感染症防止への対策が十分に考えられているか。
⑤	防犯、防災対策や非常災害時の危機管理体制などが十分考えられているか。
(7) 社会貢献・地域貢献	
①	高齢者や障害者等の雇用促進が考えられているか。
②	労働環境の向上への取り組みが考えられているか。
③	SDGsの達成や環境への配慮に関する取り組みが考えられているか。
④	地域活動や地域交流などの取り組みが考えられているか。
⑤	地域団体や市内事業者などと連携した取り組みが考えられているか。
⑥	市民の雇用拡大に資する配慮が考えられているか。

【評価レベル】

評価レベル	乗率	評価レベルの考え方
5	100%	特に優れている（市の要求水準を大幅に上回っている、高度な能力を有している）
4	80%	優れている（市の要求水準を上回っている、十分な能力を有している）
3	60%	普通（市の要求水準を満たしている、一応の能力を有している）
2	40%	多少不十分である（市の要求水準を下回っている、多少能力が乏しい）
1	20%	不十分である（市の要求水準を大幅に下回っている、能力が乏しい）
0	0%	劣っている（能力がほとんどなく、任せることに不安がある）

6 審査結果

(1) 評価レベル及び得点

団体名	選定基準 (= 審査項目) 及びポイント	配点	評価レベル						検討会 審査結果	得点
			構成員							
			A	B	C	D	E	F		
社会福祉法人 北九州市福祉事業団	1 指定管理者としての適性									
	(1) 施設の管理運営に対する理念、基本方針	5	5	4	5	5	5	5	5	5
	(2) 安定的な人的基盤や財政基盤	5	4	4	5	5	5	4	5	5
	(3) 実績や経験など	5	5	4	5	5	4	5	5	5
	2 管理運営計画の適確性									
	【有効性】									
	(1) 施設の設置目的の達成に向けた取組み	20	5	4	5	5	4	5	5	20
	(2) 利用者の満足向上	20	4	4	4	5	4	5	4	16
	【効率性】									
	(3) 指定管理料及び収入	15	4	4	5	4	4	3	4	12
	(4) 収支計画の妥当性及び実現可能性	10	4	4	4	4	4	3	4	8
	【適正性】									
	(5) 管理運営体制など	10	5	4	4	4	4	5	4	8
	(6) 平等利用、安全対策、危機管理体制など	10	4	4	5	4	4	4	4	8
	(7) 社会貢献・地域貢献	10	4	4	5	4	5	4	4	8
合計	110	96	88	102	99	92	95	-	95	
地元団体に対する優遇措置 (5点)									100	

(2) 検討会における主な意見

- ・ こどもまんなか社会の実現に向け「一人ひとりの笑顔のために」をスローガンにしており、基本方針も明確である。
- ・ 保育所、児童館、児童発達支援センター、総合療育センター等、子どもに関する施設の運営実績が豊富である。
- ・ 一般開放デーやそれぞれのニーズに合った促進期間を設けている。
- ・ 機械警備業務や消防設備保守点検業務、清掃業務などについて、法人本部で一括入札することで、事務の集約化や経費の削減に努めている。
- ・ 緑地保育センターでの特別体験・自然体験が、日常に繋がるような取組みがあるとよい。

(3) 検討会における検討結果

- ・日常とは違う自然体験や室内プログラムが充実している。
- ・長年の運営実績から蓄積されたノウハウにより、様々な専門職の知識や指導技術がある。
- ・新規提案事業もあり、時代に対応した取組みや提案がなされている。
- ・利用者に応じ、プログラムや事前打ち合わせなど、柔軟に対応していることは評価できる。
- ・自然体験が日常に繋がるような取組みがあるとなお良い。

7 選定結果

市は、検討会の検討結果を参考に、社会福祉法人 北九州市福祉事業団を指定管理者候補に選定しました。

(1) 選定された団体の主な提案内容

別紙「提案概要」のとおり

(2) 市における主な選定理由

- ・緑地保育センターの設置目的及び市の施策についてよく理解しており、当施設の指定管理業務について強い意欲が感じられる。
- ・これまで当施設を管理してきた実績やノウハウがあり、効率的かつ十分な職員配置ができています。

8 提案額

令和 7年度	99,481千円
令和 8年度	99,481千円
令和 9年度	99,481千円
令和10年度	99,481千円
令和11年度	99,481千円